

保守点検マニュアル

[大型防舷材]

項目		時期・周期	保守点検要領				備考
品名	点検		内容	方法	判定	対策	
防舷材本体	定期点検 (外観)	1回/年 及び 異常時発生後	本体表面の 亀裂 割れ 損傷(カット傷) 摩耗 ボルト痕跡	目視 スケール ノギス (付着物は除去)	小さな傷 10mm程度の場合 大きな傷 性能に影響が出ると思われる傷 将来成長する可能性が有る クラックの場合 異常接岸が認められた場合	特に問題なし 防舷材メーカーとの協議 により、取り替え/補修 メーカーへ連絡	
アンカー ボルト	定期点検 (外観)	1回/年	緩み	目視 スケール スパナ ハンマー	ワッシャーが浮いているか 簡単に回転するか	緩んでいるものは増締め を行い、点溶接する	
	定期点検 (外観)	1回/年	錆		頭部の六面体が崩れたもの	新品と交換	
	定期点検 (外観)	日常	脱落・折損	目視	完全脱落か折損かを判断する	新品による補修	ボルトの脱落は他のボルトに負荷 が掛かる為、周囲のボルトも 同時に点検する。
プロテクタ パネル	定期点検 (外観)	1回/年及び 異常時発生後	塗装 / 剥げ / 錆 溶接部 へこみ / 湾曲	目視 ハンマー 目視 スケール ノギス	異常部発見の時、その都度補修 付属部品の取付に支障がある場合 本体全体が曲折している場合	同系塗料にてタッチアップ 補強修理 鋼材の補強と補修を行う メーカーに連絡	

項目		時期・周期	保守点検要領				備考
品名	点検		内容	方法	判定	対策	
チェーン	定期点検 (外観)	1回/年及び 異常時発生後	亀裂 メッキのはげ 錆 摩耗	目視 ハンマー ノギス 目視	リンクが変形したり亀裂やメッキのはがれがないか。 錆を除去し有効径を測定する。 切断位置の確認	大荷が掛った状態でありメーカーに連絡する。 有効径が元の85%になったら新品と交換する。 メーカーに連絡する。	
チェーン用カ	定期点検 (外観)	1回/年及び 異常時発生後	錆 形状変形、亀裂 破断	目視 目視、スケール 目視、スケール	チェーンに準ずる。	チェーンに準ずる。	
組立ボルト	定期点検 (外観)	1回/年	緩み 脱落	目視 スパナ 目視	ワッシャーが浮いているか。 簡単に回転するか。	緩んでいるものは増し締めを行い、周囲のボルトも念の為点検する。	
フェンダトップ 固定ボルト	定期点検 (外観)	1回/年 及び 異常時発生後 1回/年 及び 異常時発生後	脱落 平滑摩耗 局部破損 割れ ボルト折損 ボルト脱落 ボルト緩み	目視 ノギス スパナ 目視 ハンマー スパナ 目視	脱落していないか 有効厚が3～4mm程度になったら 折損脱落の状況把握 フェンダトップが動くか、 ワッシャーが浮いているか。	至急新品と交換 新品と交換の準備を行う。 局部欠損 新品と交換 増し締めを行う。	パット固定ボルトが舷側を傷めたり、金属同士の接触により発火防止の為

